

# 外国人入域観光客の動向

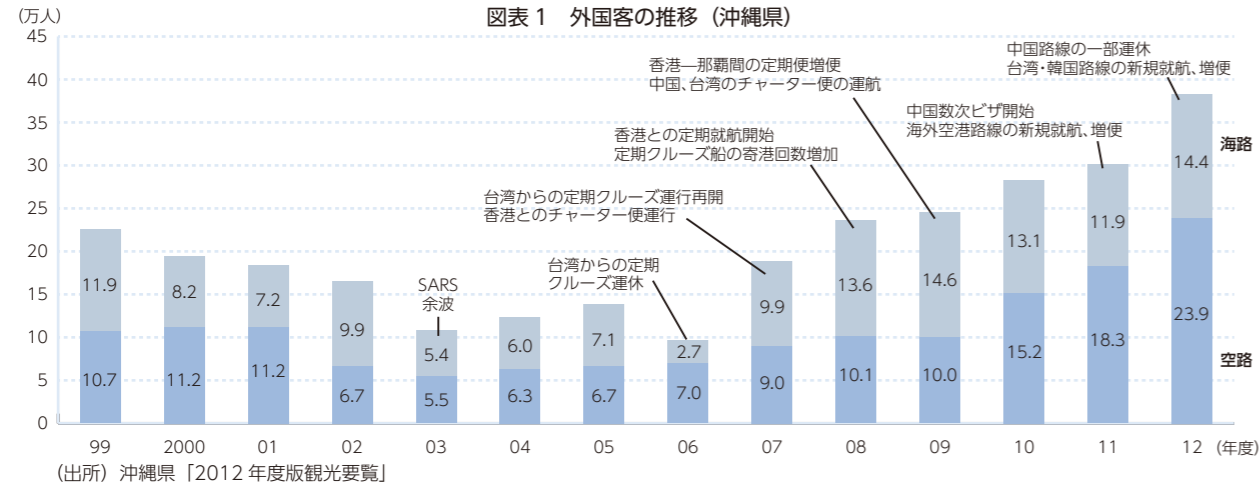
## ～満足度の向上が拡大の鍵～

2012年度の沖縄県の外国客は38万2500人と過去最高を記録した。前半は航空路線の拡充や大型クルーズ船の寄航に伴い中国客が大幅に増加した。後半は尖閣関連の影響により航空路線の運休が相次ぎ中国・香港の客数が減少したものの、台湾客の安定した入域、韓国からの新規航空路線の就航もあり前年比26.9%増となった。現在は観光客全体の約7%に過ぎないが今後も引き続き拡大が期待されている。

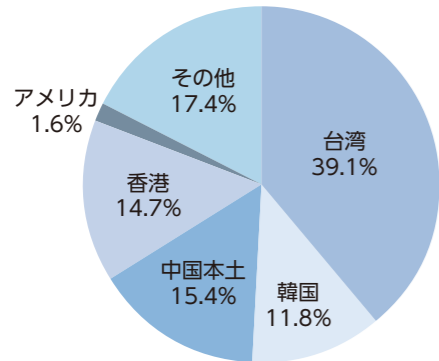
### 外国客は2006年を底に増加傾向

2000年代に入り減少傾向が続いていた沖縄県の外国人入域観光客数は、2007年に台湾からの定期クルーズの再開、香港とのチャーター便の運航などの効果から増加に転じ、2008年以降、海

路および空路でそれぞれ10万人以上の入域を維持している。特に空路は、香港からの定期便、中国、台湾のチャーター便の運航、中国数次ビザの開始、台湾、韓国路線の新規就航や増便の効果から、2012年度には、過去最高の23.9万人を記録



図表2 2012年度外国客の構成比（沖縄県）



図表3 2012年度外国客数（沖縄県）

区分	2012年度入域客数 (人)	対前年増減率 (%)
台湾	149,400	29.2
韓国	45,100	73.5
中国本土	58,900	32.4
香港	56,200	2.7
アメリカ	6,200	▲4.6
その他	66,700	23.3
合計	382,500	26.9

(出所) 沖縄県「2012年度版観光要覧」

した。

尖閣関連の影響は多少残るものの、円安による訪日旅行の拡大傾向や中国本土の航空路線の一部再開などから、2013年度も好調な推移が見込まれている。

### 空路による中国客は10万円以上の消費額

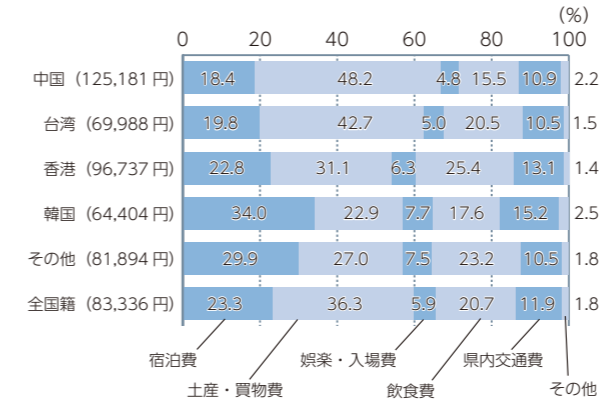
空路での入域客の旅行中の消費支出について国籍別にみると、中国が125,181円と最も高く、全国籍の平均値を4万円以上上回っている。また、中国の中でもマルチビザ有が129,181円と全国籍の中で最も高い。

費目別の構成比をみると、全国籍では、「土産・買物費」36.3%が最も割合が多く、次いで、「宿泊費」23.3%、「飲食費」20.7%の順となっている。

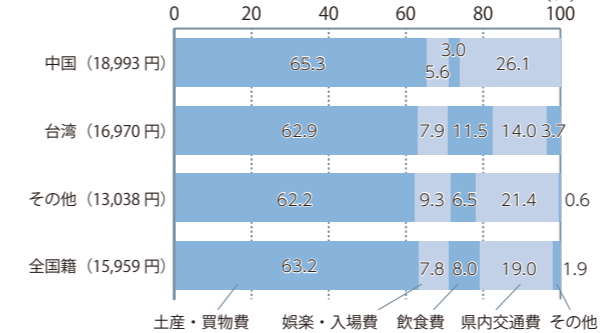
「土産・買物費」については、中国の60,337円が最も高く、消費額の約5割を占めており、次いで香港も全支出の3割以上となっている。

「飲食費」は、香港の24,579円が最も高く、消費額の1/4を占めている。

図表4 外国客一人当たり消費額（空路のみ）



図表5 外国客一人当たり消費額（海路のみ）



(出所) 沖縄県「2012年度外国人観光客満足度調査」をもとに作成  
(注1) 四捨五入のため総額が一致しない場合がある  
(注2) 沖縄本島での支出のみ

### 【KRIアウトック：外国人入域観光客の動向】

一方で台湾と韓国の消費額は低い傾向にある。特に台湾の「宿泊費」13,823円、「飲食費」14,359円、韓国は「土産・買物費」14,773円、「飲食費」11,357円と各費目について他の国と比較して低い。

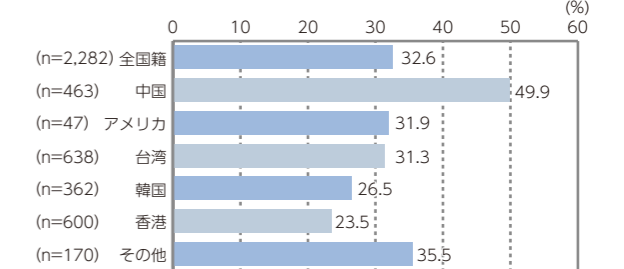
また、同調査によると、宿泊先については、台湾では約8割が「シティホテルまたはビジネスホテル」を利用しており、香港約7割、中国約6割となっている。韓国では「リゾートホテル」の利用が約7割と最も多く、その他の3カ国については、約5割程度の利用となっている。

回答者の約7割が訪日旅行経験者であるが、中国客は約5割が「初めての海外旅行」で沖縄に来訪している。沖縄旅行経験については、中国、香港、韓国の9割以上が「沖縄旅行は初めて」と回答している。リピーター率は1割以下であり、訪日旅行経験と比較すると大きな差がみられる。

アメリカは「友人・家族訪問」目的が多いことから、リピーターが3割と全国籍中で最も高く、次いで台湾のリピーターは2割程度と他の国籍と比較するとやや多いようだ。「沖縄が初めての海外旅行」である割合は、中国49.9%、アメリカ31.9%、台湾31.3%、韓国26.5%、香港23.5%となっている。

また、平均泊数については、中国、台湾、香港、韓国の4カ国では3～4泊が中心となっているとみられ、滞在日数による消費単価の違いは認めら

図表6 沖縄が初めての海外旅行（空路のみ）



図表7 国籍別平均泊数（空路のみ）

国籍	平均泊数
中国	3.57
台湾	3.41
香港	3.96
韓国	3.40
その他	8.79
全国籍	4.07

(出所) 沖縄県「2012年度外国人観光客満足度調査」

れなかった。

一般的に訪日旅行者の中でも中国客の消費単価は高い傾向があり、初めての海外旅行である割合が高いことから他の国籍と比較して消費意欲は高いとみられる。

買い物場所は国籍によって傾向に違い

空路による外国客について、全国籍でみると「国際通り」での買い物率が76.3%と最も高い。また、中国および台湾は、各買い物場所について、全国籍（平均値）を上回っている。その他の傾向としては、韓国、アメリカ、その他の国籍では「コンビニ・スーパー」での買い物率が「国際通り」を上回っている。

「土産・買物費」の消費額が最も低かった韓国では「国際通り」での買い物率は6割以下となっており、全国籍（平均値）と比較して大きく差がみられているほか、アメリカは約4割と最も低くなっている。

中国と台湾では「ドラッグストア」の利用率高く、特に台湾では76.0%と全国籍中で最も高

い買い物率となっている。

また、中国は「家電量販店」（18.5%）、香港は「デパート」（50.3%）、アメリカは「アメリカンビレッジ」（37.5%）の利用率が他の国籍に比べて高いなど、国籍によって買い物場所の傾向に違いがみられている。

旅行形態をみると、中国と台湾では「観光付きツアー」や「団体旅行」の形態が多く、香港、韓国では「個人旅行」や「フリープラン」が多い。アメリカでは、7割以上が「個人旅行」となっている。また、アメリカの「団体旅行」のほとんどを招聘や出張が占めているようだ。

中国客や台湾客については、ニーズの高い商品の買い物場所として「ドラッグストア」「家電量販店」などがあらかじめツアーに組み込まれており、旅行形態により消費行動にもやや違いがみられるようだ。

観光活動の参加率と満足度のギャップ

2012年度の沖縄県「外国人観光客満足度調査」のアンケート結果をもとに、縦軸に満足度（「満足」と答えた割合）、横軸に参加率をとりプロットしたのが図10（次頁）である。

Aの象限に属するのは「満足度」は高いが「参加率」が低い活動内容であり、「帰省・友人訪問」「ウェディング」「ダイビング」「会議・研修」「ビジネス」「釣り」「イベント」「エコツアー」などが属している。

これらの活動内容は、外国客向けの情報提供や外国語対応等を強化することでさらなる需要を産む可能性があると考えられる。

Bの象限に属するのは「満足度」「参加率」がともに低い活動内容である。

「スパ・エステ」「ゴルフ」は、特に低い水準にある。外国客をターゲットとしていない施設が多いという可能性もあるが、世界的には認知度の高いメニューであり、ニーズは一定程度あると考えられる。参加率の向上に期待したい分野のひとつであろう。

「工芸体験」「マリナクティビティ」については、沖縄の特性を活かした観光メニューのひとつといえ、満足度も中間の水準にある。A象限に属する「エコツアー」「イベント」等も含めて、外国客向けの情報提供や外国語対応等を強化することでさらなる需要を産む可能性があると考えられる。

Cの象限に属するのは「参加率」は高いが「満足度」が低い活動内容であり、「観光地巡り」「ショッピング」「沖縄グルメ」がこの象限に属している。これらの活動内容は、一般的に多くの観光客が参加するメニューでもあり、「土産・買物費」「飲食費」に直結する活動である。

「土産・買物費」は消費額に占める割合が最も高い費目であるものの、「ショッピング」の満足度は他の活動内容と比較しても特に満足度が低い水準にあり、外国客のニーズへの対応が十分にできていないと考えられる。

Dの象限に属するのは、「満足度」「参加率」がともに高い活動内容であるが、この象限にプロットされる活動内容はひとつもみられなかった。

外国客が増加傾向にある中で、沖縄旅行を定着させるためには、少なからずこの象限にプロットされる観光メニューを増やしていくことが必要となる。

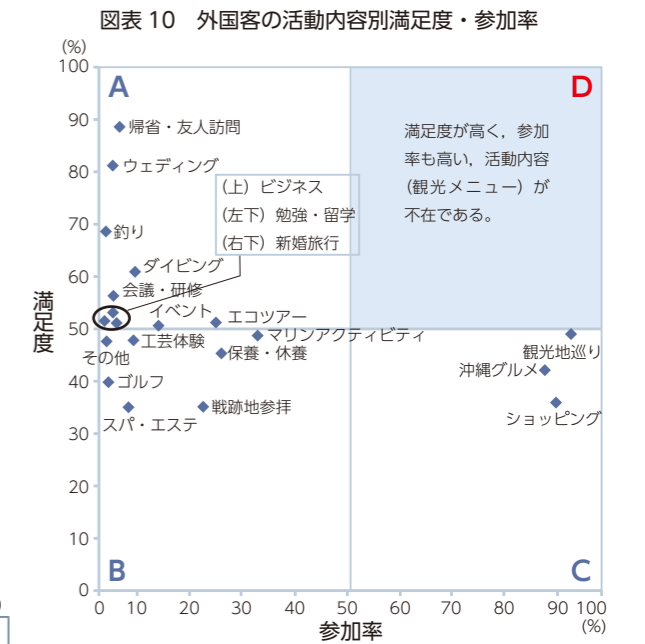
特に現在、参加率が高い活動内容の満足度が低いことは、沖縄旅行全体の満足度にも大きく影響すると考えられる。

2012年度の沖縄県「外国人観光客満足度調査」では、回答者の約3割から「友人・親戚の薦め」

が沖縄旅行のきっかけとして挙がっており、「ガイドブック」とほぼ同等の水準にある。特に、中国、台湾、アメリカでは「友人・親戚の薦め」の割合が最も高いという結果もあり、口コミでの評判が沖縄への新たな誘客に繋がっていることがうかがえる。

リピート客をはじめさらなる外国客の誘客に向けては、参加率の高い活動内容の満足度を向上させていくことが重要な要素といえるであろう。

（海邦総研経営企画部主任研究員／新里治史）



図表 11 観光活動について「満足」と答えた割合（空路のみ）

活動内容	全国籍	中国	台湾	香港	韓国	アメリカ	その他
帰省・友人訪問 (89)	88.8	100.0	75.0	50.0	93.8	91.3	100.0
ウェディング (59)	81.4	100.0	66.7	82.1	100.0	100.0	100.0
ダイビング (157)	61.1	75.5	48.4	55.8	40.0	80.0	63.2
会議・研修 (62)	56.5	70.6	50.0	66.7	42.9	0.0	63.6
ビジネス (60)	53.3	91.7	41.7	71.4	36.4	28.6	45.5
釣り (29)	51.7	83.3	50.0	42.9	50.0	50.0	37.5
エコツアー (512)	51.4	67.6	48.5	43.5	45.5	33.3	52.0
新婚旅行 (76)	51.3	100.0	50.0	37.5	55.2	0.0	60.0
イベント (260)	50.8	66.1	47.6	25.9	40.6	88.9	68.2
観光地巡り (2,178)	49.2	62.8	50.1	43.7	41.8	47.4	43.0
マリナクティビティ (695)	48.9	61.5	45.4	42.5	43.2	53.3	50.0
工芸体験 (150)	48.0	61.1	47.2	40.0	46.2	50.0	64.3
勉強・留学 (23)	47.8	60.0	50.0	100.0	12.5	100.0	60.0
保養・休養 (536)	45.5	51.7	43.3	32.7	39.3	67.6	59.5
沖縄グルメ (2,063)	42.3	54.4	44.2	33.7	33.4	63.6	50.3
ゴルフ (40)	40.0	100.0	40.0	42.9	20.0	50.0	37.5
ショッピング (2,112)	36.1	48.0	42.8	29.7	22.1	28.6	30.3
戦跡地参拝 (456)	35.3	48.0	38.1	30.3	29.6	61.5	26.5
スパ・エステ (128)	35.2	20.0	50.0	36.4	33.9	33.3	50.0
その他 (32)	68.8	0.0	53.3	80.0	0.0	100.0	88.9

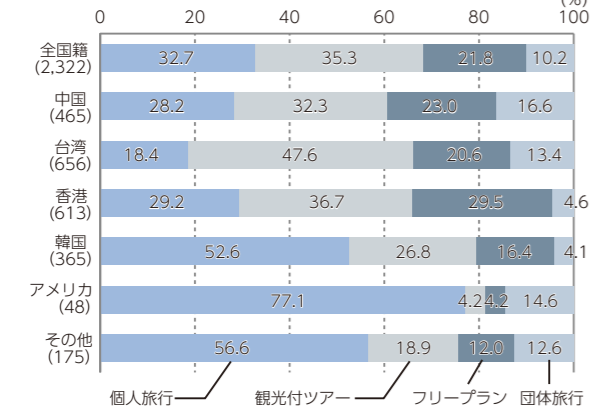
（出所）沖縄県「2012年度外国人観光客満足度調査」をもとに作成  
 （注1）塗りつぶしは、全国籍（平均値）より高いもの  
 （注2）活動内容欄の（ ）内の数値は、回答者数

図表 8 外国客が買い物した場所（空路のみ）

	全国籍 n=2,312	中国 n=466	台湾 n=655	香港 n=610	韓国 n=363	アメリカ n=48	その他 n=170
国際通り	76.3	76.8	83.1	89.8	53.7	41.7	58.2
コンビニ・スーパー	75.6	71.7	78.5	80.8	70.8	56.3	71.8
ドラッグストア	51.8	62.4	76.0	45.9	18.5	16.7	31.8
空港売店	43.9	45.3	47.0	40.8	46.8	29.2	37.6
デパート	38.9	45.9	40.2	50.3	15.2	25.0	28.2
アウトレットモール	32.9	41.0	41.7	26.6	23.7	12.5	24.7
公設市場	30.2	24.7	30.7	42.5	17.6	12.5	31.8
アメリカンビレッジ	26.9	23.2	22.0	30.2	33.9	37.5	27.1
百貨ショップ	26.1	24.2	31.6	25.1	22.0	20.8	24.1
DFS	24.4	47.0	29.5	15.4	9.6	8.3	10.6
道の駅	11.2	11.4	9.6	14.9	9.1	2.1	10.0
家電量販店	8.4	18.5	9.2	4.4	2.8	8.3	4.7

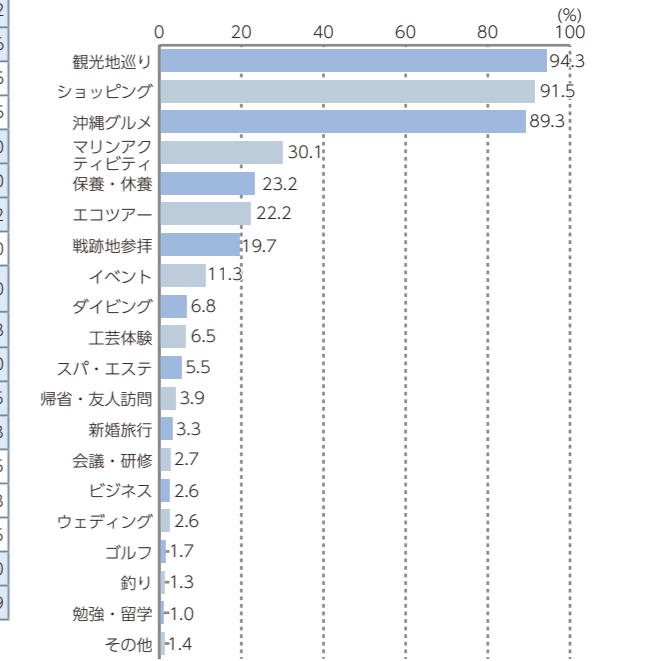
（出所）沖縄県「2012年度外国人観光客満足度調査」をもとに作成  
 （注）塗りつぶしは、全国籍（平均値）より高いもの

図表 9 外国客の旅行形態（空路のみ）



（出所）沖縄県「2012年度外国人観光客満足度調査」をもとに作成

図表 12 外国客の観光活動の参加率（空路のみ）



（出所）沖縄県「2012年度外国人観光客満足度調査」